



# 友 愛

鴨池小学校  
学校だより  
令和5年3月発行

～鹿児島学習定着度調査結果報告編～

今回、令和5年1月に行われました「令和4年度鹿児島学習定着度調査（対象：5年）」の結果がまとまりましたので概要をお知らせいたします。

この調査は、5年で学習した内容を中心に、4年までの内容を含んで、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力に関する状況、学習に関する意識などを把握することを目的に行われました。

## 【学習に関する結果】

右のグラフが示すように、すべての教科において県の平均通過率を上回っています。特に、社会科では県の通過率を大きく上回っています。

しかし、今回の調査では下記のように通過率の低い問題も確認することができました。

(国語)

・資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫して記述する問題

(社会)

・寒流及び暖流といった日本の主な海流の名称を答える問題

(算数)

・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する問題

・2つの棒グラフを比べ、それぞれの変化の様子を判断する問題

(理科)

- ・並列つなぎの回路に流れる電流の向きと大きさに関する問題
- ・乾電池2個のつなぎ方と電流の大きさや向きを関係付けて考える問題
- ・方位磁針の正しい使い方に関する問題

## 【こういった問題についての対策】

(国語) 複数の資料のどの言葉や表現どこを根拠として、自分の考えを組み立てたかを発表する活動設ける。

(社会) ICT (Google アースなど) を活用して、海流の流れなどの事象を視覚的に捉える機会を設ける。

(算数) 面積の求め方について筋道を立てて説明したり、考えを発表し合ったりする活動を取り入れる。

(理科) 乾電池の数やつなぎ方を変えたときに、電流の大きさや向きはどのように変わるのか見通しをもって実験を行い、電流の大きさと向きを関係づけて調べる活動を設ける。

## 【今後の取組として】

- ① 通過率の高い内容や低い内容などの分析結果について全職員で共通理解を行い、授業改善につなげる。
- ② 通過率の低い内容については、学年ごとの系統性を把握し、各学年の年間指導計画に明記し、指導の重点化を図っていく。
- ③ 通過率の低い内容については、児童一人一人の実態を把握し、それを活用して、やり直しと解説を行う。また、通過率の高い内容については、さらに伸ばすようにする。

今後も、全学年の児童の学力向上のために指導を進めていきますので、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

各教科の平均通過率



